

歯科保健計画

柏崎市



平成 24 年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール 1 位
日吉小学校 小林拓海さんの作品

食べて歯ッピー シャベって歯ッピー
笑顔いっぱい柏崎

～平成25年3月 柏崎市～

はじめに



歯や口腔は人が生きていくために、重要な役割を担っています。その役割は、噛む、飲み込む、味を感じる、言葉を伝える、呼吸する、表情を表すなど、実にさまざまです。

健康な歯や口腔を維持することは、QOL(生活の質)を保ち、豊かな人生を送るための基本であると考えます。

当市では、平成 18 年度に健康増進計画「健康みらい柏崎 21」を策定し、青壮年期にあたる市民の皆さまの歯や口腔の健康に取り組んでまいりました。このたび、乳幼児から高齢者まで、また妊産婦や障がいのある方、介護が必要な方を含め、すべての市民の皆さまに対して、生涯を通じて途切れることのない歯科保健サービスを推進するため「柏崎市歯科保健計画」を策定いたしました。

本計画では、ライフステージ別に目指す姿を掲げ、その姿に向け現状を踏まえ、課題を明らかにしました。さらに、それぞれの方がそれぞれの立場で取り組むことを具体的な対策として表しました。

計画の策定にあたっては、アンケートやインタビューを行い、市民の皆さまの声を聞かせていただきました。また、関係者の方の歯科保健に対する熱意に支えられて完成することができました。市民の皆さまをはじめ、関係諸団体の方々へ心から感謝申し上げます。

この計画を通して、歯や口腔の健康への関心が高まり、市民の皆さまの健口が保たれるよう、本計画へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成 25 年 3 月

柏崎市長 会田 洋

目次

第1章 計画の概要

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の期間	2
4	計画の基本方針	2
5	各ライフステージの目指す姿	2
6	計画の推進体制および進行管理	3

第2章 生涯を通じた歯科保健の現状と対策

1	乳幼児期（0歳～5歳）	4
2	学童・思春期（6歳～19歳）	10
3	青壮年期（20歳～64歳）	16
4	高齢期（65歳以上）	22
5	全てのライフステージ	28

第3章 計画策定の経過

1	計画策定の方法	29
2	計画策定の経過	29

資料編

1	世代別目標値の根拠	32
2	歯科保健統計の現状	33
3	アンケート結果	
	・アンケートの概要	37
	・各世代共通の調査項目結果	38
	・世代別アンケート調査結果	46
4	策定に関わった関係者名簿	58
5	関係法令	60

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

国では、平成元年から、健全な咀嚼能力を維持し、健やかで楽しい生活を過ごすために80歳になっても自分の歯を20本以上に保つことを目標にした「8020運動」を推進しています。また、平成12年には国民の健康づくり運動である健康日本21の中に「歯の健康」を位置づけて、生涯を通じた歯及び口腔の健康増進を図っています。平成23年8月には国の歯科の基本法として、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が施行されました。

また、新潟県では、平成20年7月に、全国で初めてとなる「新潟県歯科保健推進条例」が制定され、県民自らの取り組みはもちろん、その取り組みを地域や行政、関係者が支えていくための役割が定められています。

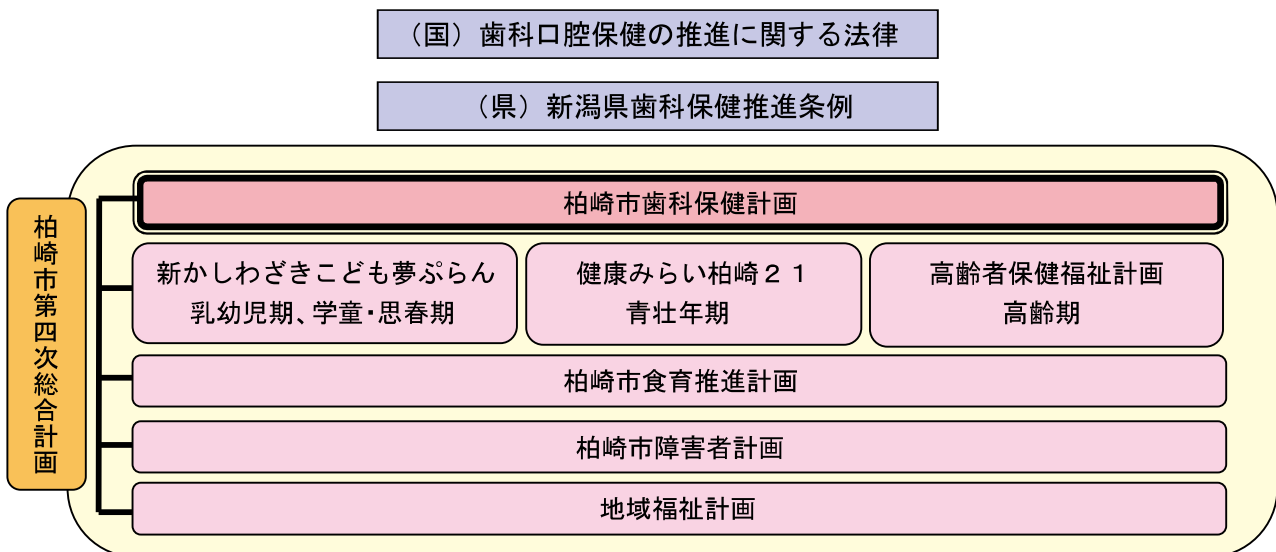
柏崎市では他市町村に先がけ、行政歯科衛生士の配置を行い、乳幼児期・学童期を中心とした健診や健康教育などに重点を置いた歯科保健施策に積極的に取り組み、一定の成果を上げてまいりました。さらに平成18年には健康増進計画「健康みらい柏崎21」を策定し、生活習慣病対策の一環として青壮年期へも活動を広げてきました。

歯や口腔の健康は、生涯を通じて保たれることにより、心身の健康にも影響し、自分らしい豊かな生活を送ることができます。これまでも各分野での取り組みはそれぞれになされていましたが、今後は生涯を通じた一連の取り組みとして、各世代の特徴にあわせた、きめ細かな歯科保健サービスを展開する必要があります。

そこで、これまでの取り組みを踏まえ、障がい児（者）や要介護者も含めて全てのライフステージを通じて、全身の健康状態やQOL（生活の質）の向上を目指し、市民・地域・関係機関・行政が共通認識のもと連携して取り組むため、「柏崎市歯科保健計画」を策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、柏崎市第四次総合計画や保健・福祉分野における個別計画と整合性を図ります。

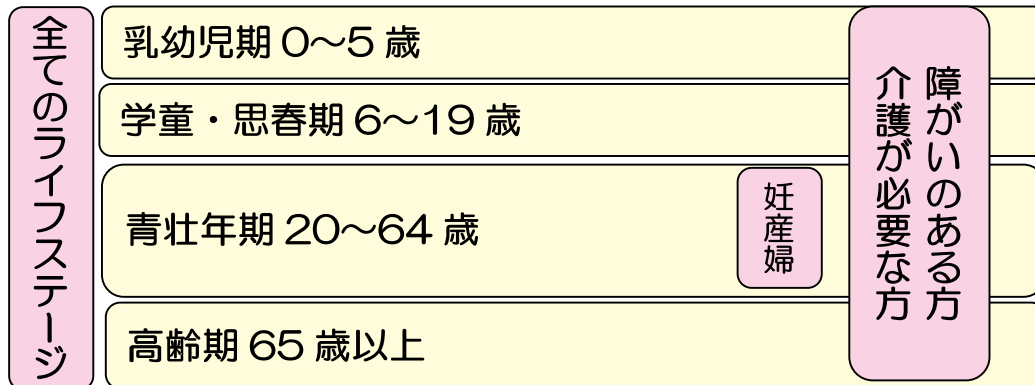


3 計画の期間

平成 25 年度から平成 29 年度の 5 年間とします。必要に応じて見直しを行います。

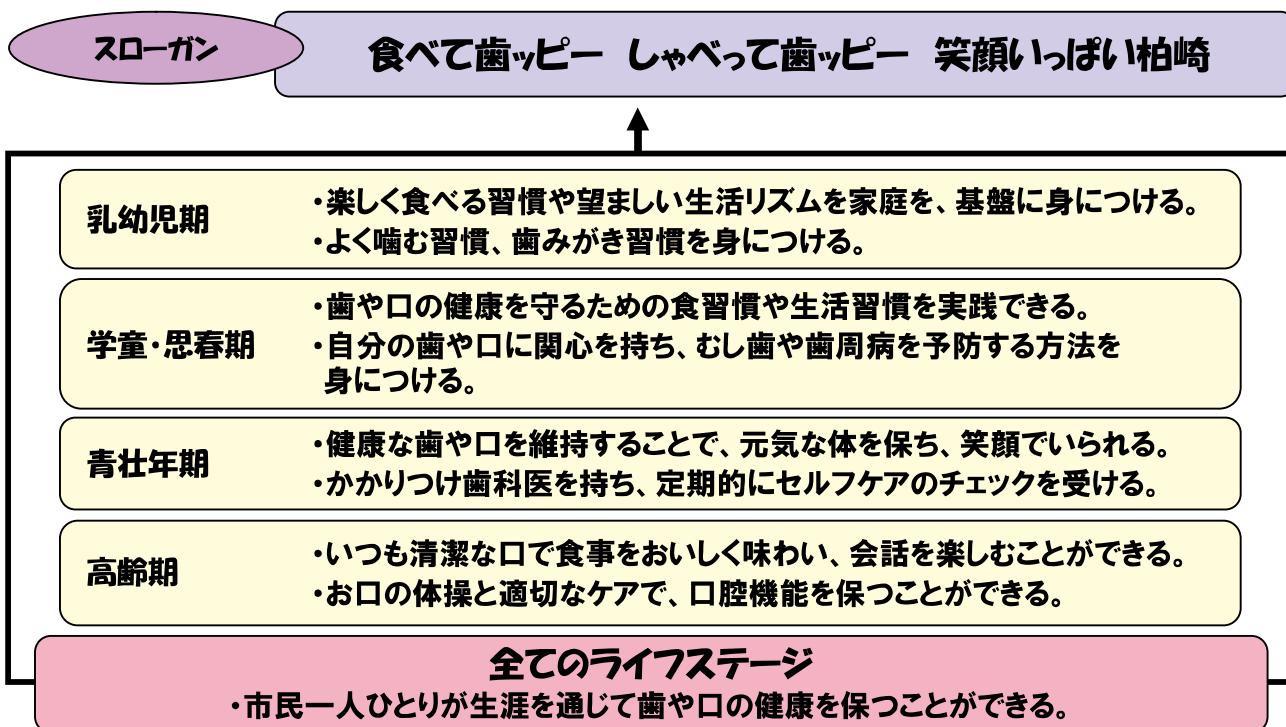
4 計画の基本方針

- ◎生涯を通じて、全身の健康状態やQOL（生活の質）の向上を目指します。
- ◎障がい児（者）や要介護者も含めて、全てのライフステージを通じた計画とします。
- ◎市民、地域、関係機関、行政が共通認識のもと連携して取り組みます。



5 各ライフステージの目指す姿

本計画では、「歯や口腔の健康を通して柏崎市民がこうなったらいいな」という姿を話し合い、その姿から、各ライフステージの目指す姿を揚げ、目指す姿へ近づくために現状を分析し、課題と対策を示しています。また、それらをイメージ化したものをスローガンとして掲げ、取り組んでまいります。



6 計画の推進体制および進行管理

市民一人ひとりが生涯を通じて歯や口腔の健康づくりを実践できるよう、様々な機関と協働・連携して取り組みを推進する必要があります。計画の推進にあたっては、歯科関係者はじめ、保健医療・福祉・教育・地区組織等様々な関係者および行政機関から構成される「柏崎市歯科保健推進会議」を設置し、計画の進行管理をしてまいります。「健康みらい柏崎 21」と整合性を図りながら進捗状況を把握してまいります。

また、庁内関係課による「庁内歯科保健連絡会議」を開催し、障がい児（者）や介護者も含めた全てのライフステージを通じた歯科保健の推進が図れるよう、連携した取組を進めてまいります。

